



令和6年2月22日  
九州地方整備局  
博多港湾・空港整備事務所

## “みなと”が支える私たちの暮らし！ 三池港の機能強化と投資効果を紹介します

- 海上輸送網の拠点として機能する港湾は、背後に産業集積が進み、地域の雇用と経済を支え、産業の国際競争力を向上させる重要な役割を担っています。
- 九州地方整備局では、三池港を対象に、港湾が地域にもたらす効果を定量的・定性的に分析し、今般「三池港の機能強化と地域にもたらす効果」をまとめました。

○サプライチェーンのグローバル化の進展により、島国日本における港湾の役割はますます重要になる中、港湾への投資は、新たな産業誘致や地域産業の再生、雇用創出、更なる民間投資の促進を誘発するなど、地域の発展や企業の国際競争力を高め、日本経済の成長を牽引しています。

○こうした地域の産業、経済を支えている港湾の事例を紹介するため、九州地方整備局では、三池港を対象として、港湾が地域にもたらす効果を定量的・定性的に分析し、事例として整理することを目的として学識者等で構成される「三池港の機能強化と地域にもたらす効果に関する検討会」を設置し、令和5年10月より三池港整備の変遷や三池港がもたらす地域活性化と雇用創出の効果等について、議論を行いました。

○今般、三池港の港湾整備が地域にもたらす効果を定量的・定性的に分析し「三池港の機能強化と地域にもたらす効果」としてまとめました。是非ご覧いただき、普段、私達があまり意識することのない港湾が、暮らしや経済にどのような影響を与えているのか、ご興味を持っていただければ幸いです。

### 【添付資料】

- ・別紙1 検討会構成員
- ・別紙2 三池港の機能強化と地域にもたらす効果

### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部  
クルーズ振興・港湾物流企画室長 野口（のぐち）  
課長補佐 島田（しまだ）

TEL：092-418-3379

国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所  
企画調整課長 江口（えぐち）

TEL：092-752-8602

# 三池港の機能強化と地域にもたらす効果に関する検討会

## 構成員名簿

(敬称略・順不同)

### (学識者)

福岡大学 理事・工学部長 教授

辰巳 浩

### (団体)

大牟田商工会議所 まちづくり委員会 委員長

田中丸 栄治

三池貿易振興会 専務理事

津川 光美

三池港物流株式会社 代表取締役社長

安藤 寿英

### (行政)

福岡県 県土整備部 港湾課 課長

佐々木 大介

福岡県 南筑後県土整備事務所 所長

長友 和也

大牟田市 産業経済部 部長

吉田 尚幸

九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所 所長

森住 直樹

### (事務局)

九州地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

# 三池港の機能強化と地域にもたらす効果

---

# 三池港の特徴と企業立地

- 三池港は、福岡県南部の有明海に面した場所に位置し、有明海沿岸道路により佐賀県や福岡県の有明海沿岸域とも接続されている重要港湾である。
- 三池港背後には、化学工業品や非鉄金属工業品の製造業や電力等我が国有数の企業が立地し、三池港とともに発展してきた。
- 三池港は、それら**企業の生産活動に必要な海上輸送拠点としての機能を果たす**とともに、**地域の雇用や経済を支えている**。

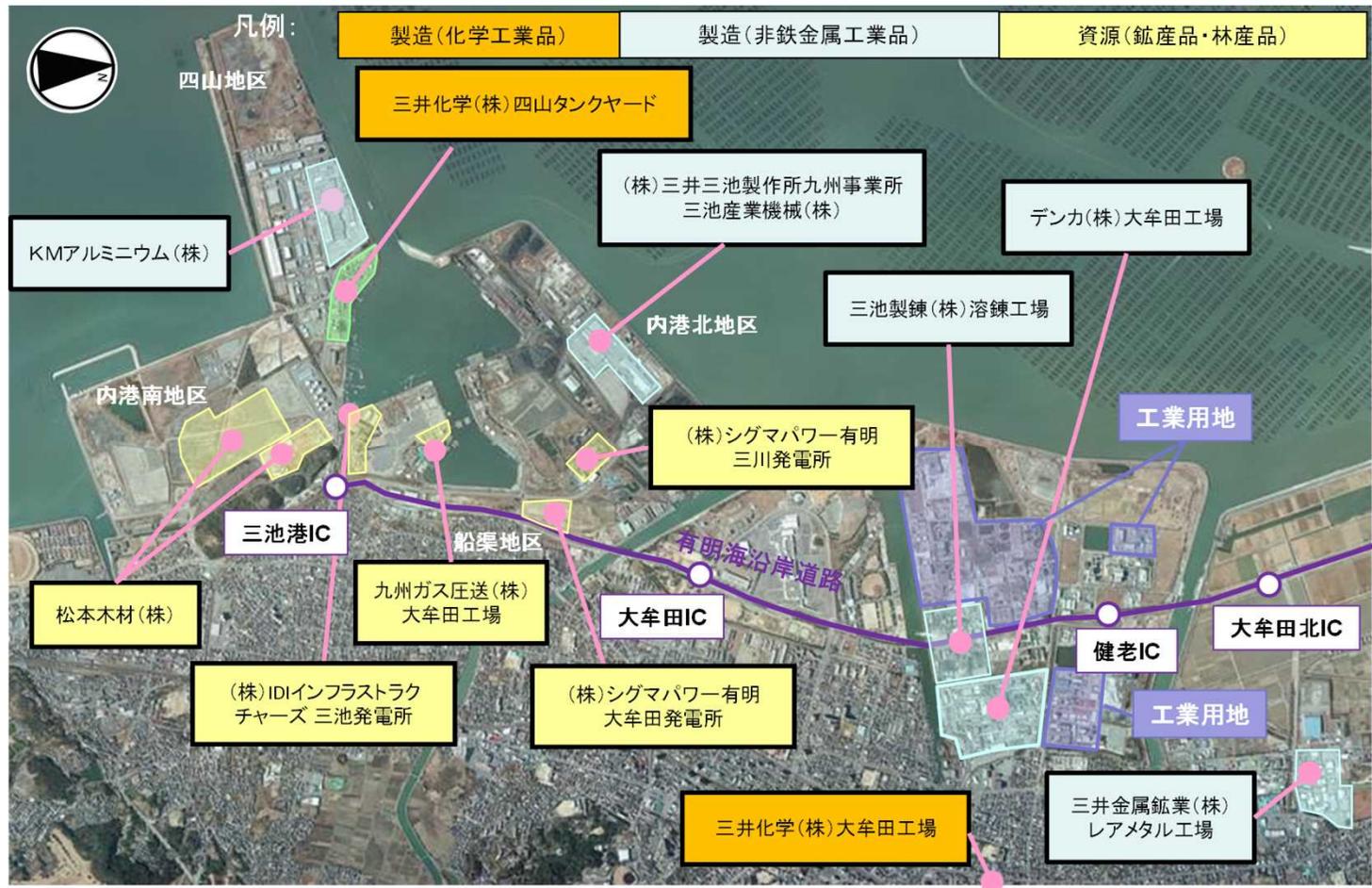
## 三池港の特徴

- **有明海沿岸域ともアクセスの良い三池港**
  - ・ 三池港は、干満差の大きな有明海に面し、福岡県南部の熊本県と県境を接している重要港湾。
  - ・ 有明海沿岸道路（大牟田市～佐賀県鹿島市）との接続も良く、有明海沿岸域エリアとのアクセスも良い。
- **背後地域産業の生産活動を支える三池港**
  - ・ 三池炭鉱の積出し港湾として発展し、製造（化学工業品、非鉄金属工業品）・電力・資源（鉱産品、林産品）等の背後地域産業の生産活動を、炭鉱閉山後も継続的に支えている。
  - ・ その歴史的・文化的価値が認められ三池港は、世界文化遺産に登録（2015年）されている。

## 三池港位置図



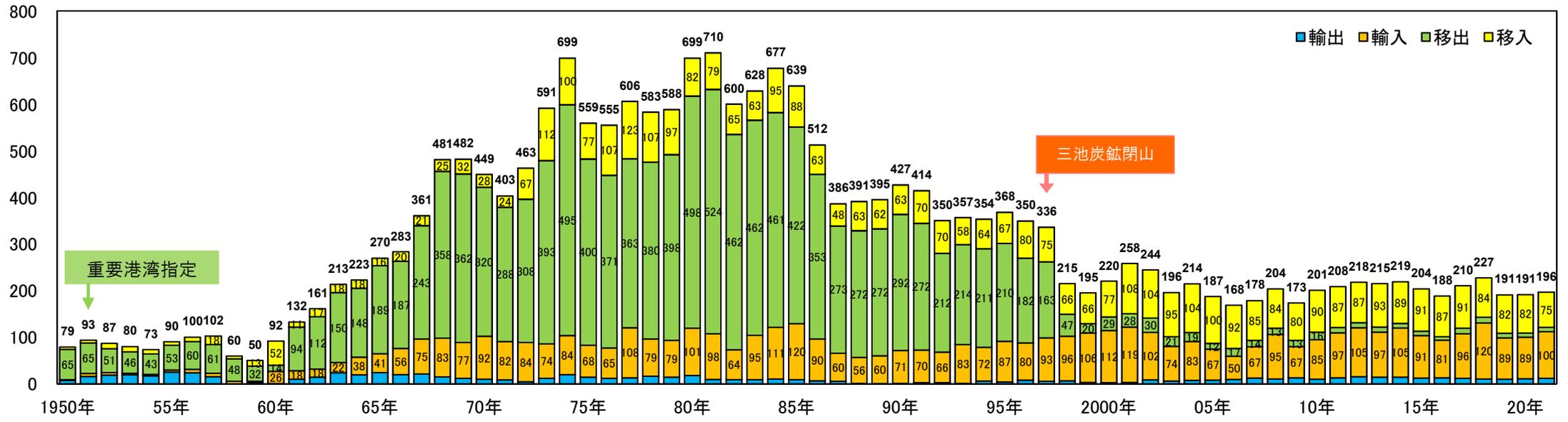
## 三池港と立地企業の状況



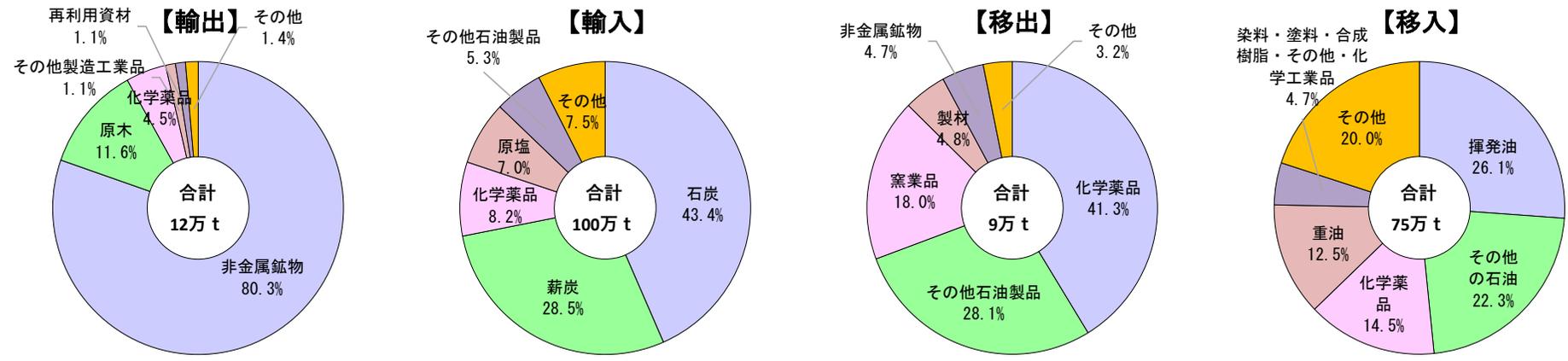
# 三池港の取扱貨物

- 三池港は三池炭鉱からの石炭の積出港として、昭和期の工業化等の進展に伴い整備が進められてきたが、石油へのエネルギー転換、輸入石炭への転換、さらには1997年（平成9年）の三池炭鉱閉山を経て、近年は200万トン程度で推移している。
- 三池港の大宗貨物は、石炭（輸入）、薪炭（輸入）、化学薬品（輸移出入）、非金属鉱物（輸出）などであり、**三池港背後に立地している製造業や電力関連企業などの貨物を取り扱っている。**

## 三池港の取扱貨物量の推移



## 三池港の取扱貨物 2021年(令和3年)



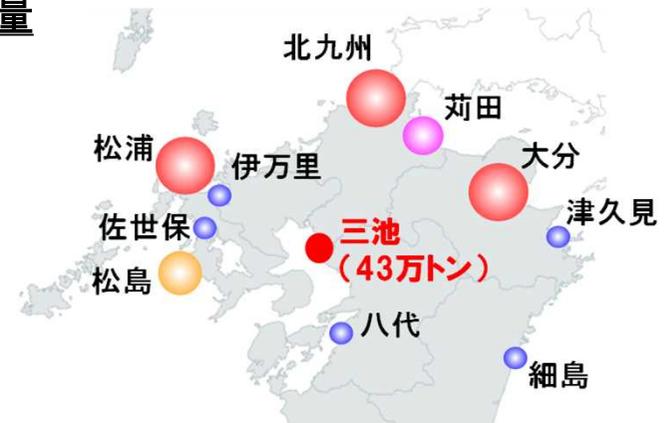
# 三池港の主な機能 ～背後地域産業を支えるバルク貨物の輸送拠点～

○ 三池港では、従来からの石炭の輸入に加え、近年では薪炭（パームヤシ殻：PKS）の輸入も取扱いがあり、これらは三池港背後に立地している石炭火力発電所やバイオマス発電所の燃料として利用されており、**背後地域産業のバルク貨物輸送拠点としての機能を果たしている。**

## 三池港背後の発電所

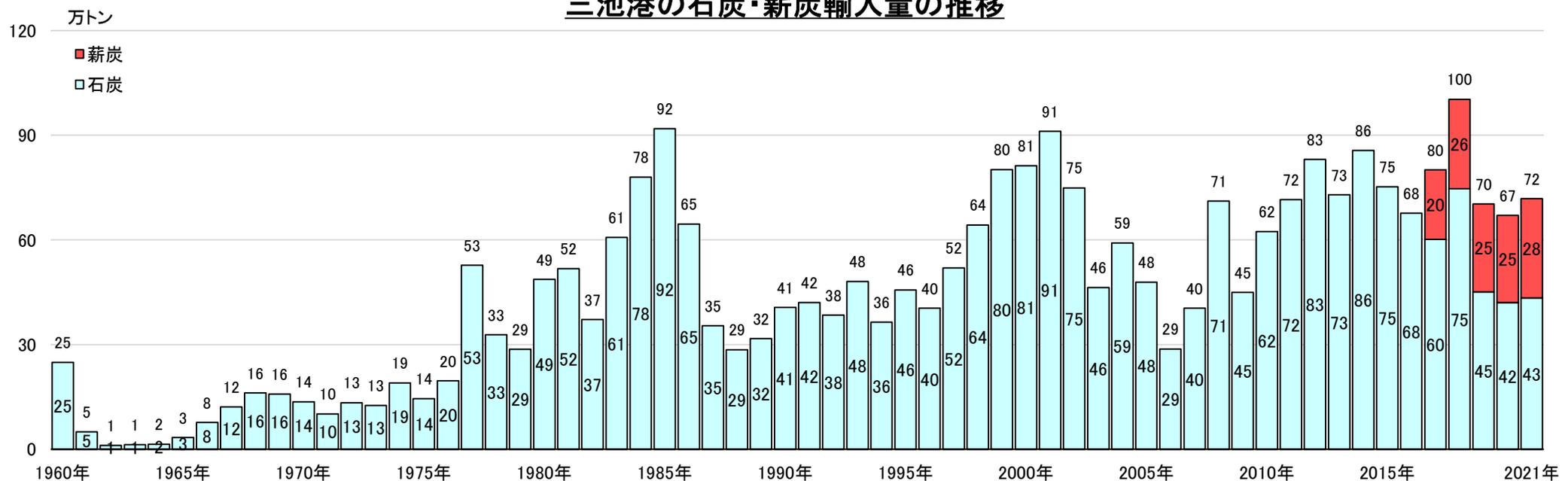
企業名・発電所名	区分
(株)IDIインフラストラクチャーズ 三池発電所	石炭火力発電
(株)シグマパワー有明 三川発電所 大牟田発電所	バイオマス発電
三井化学(株)	石炭火力発電

## 石炭の九州への輸入量



出典：港湾統計年報（2021年）を基に作成

## 三池港の石炭・薪炭輸入量の推移

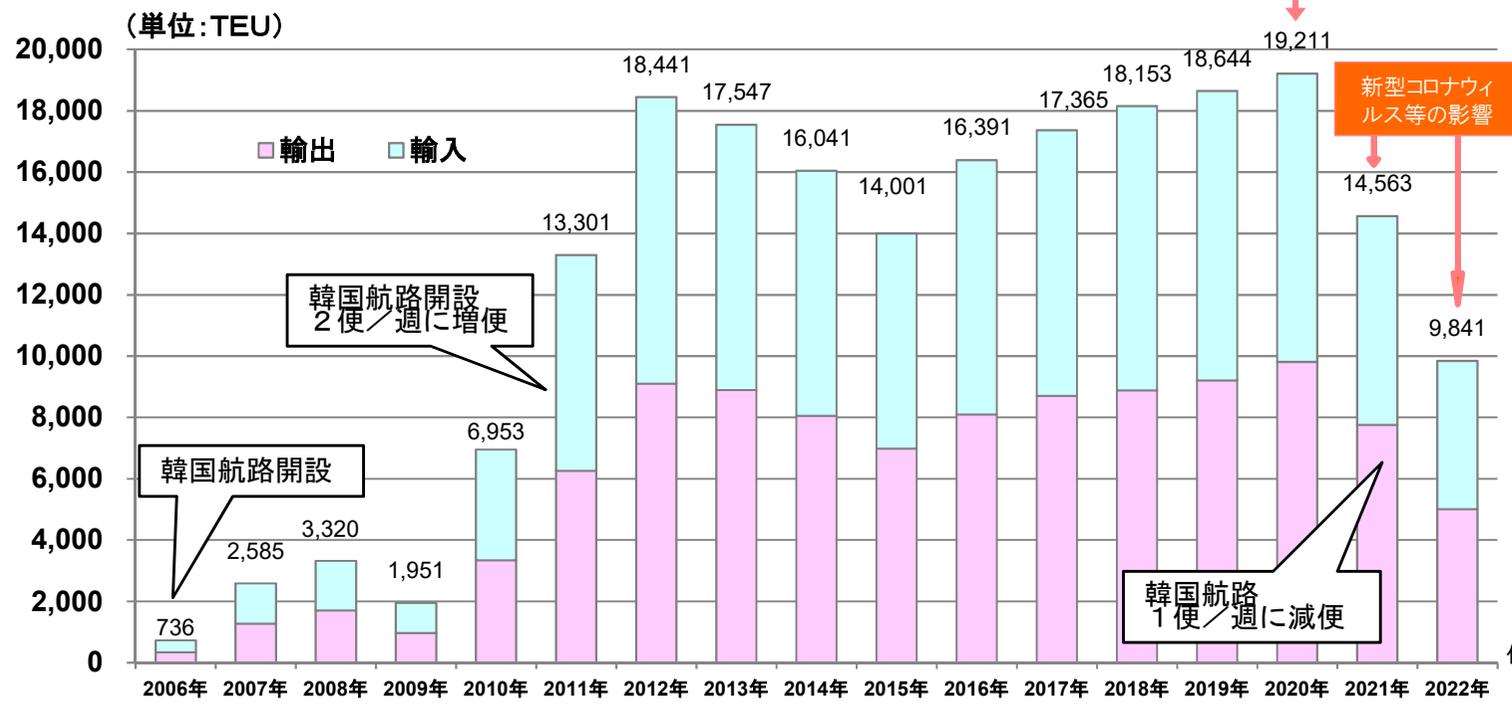


出典：港湾統計年報を基に作成

# 三池港の主な機能 ～背後地域産業を支えるコンテナ貨物の輸送拠点～

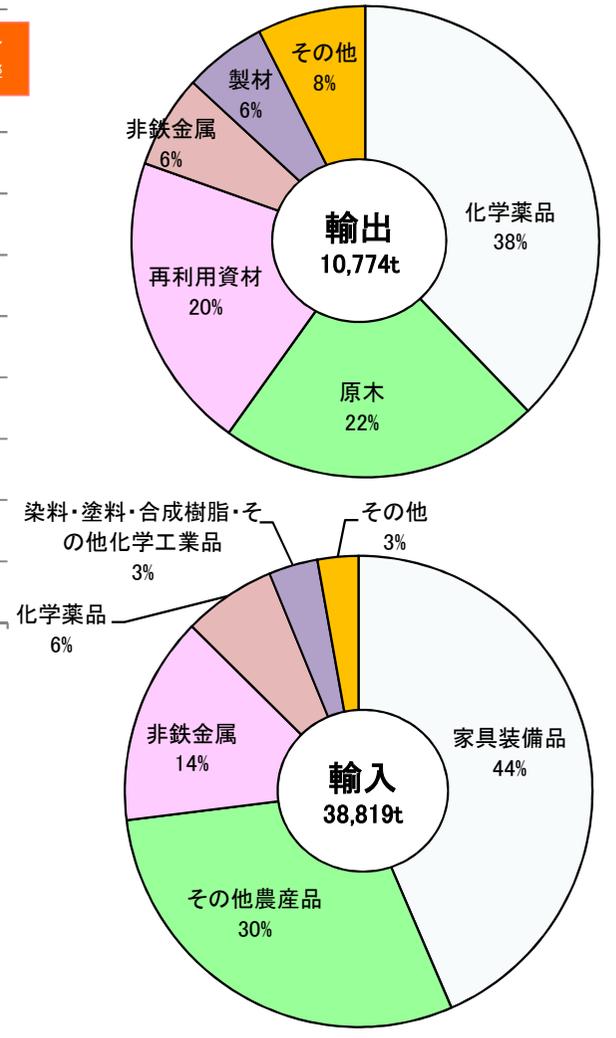
○ 三池港では、2006年（平成18年）から釜山港との間に国際コンテナ定期航路が就航しており、2020年（令和2年）には過去最高の約1.9万TEUの取扱いがあり、化学薬品（ウレタン原料・レンズ原料、リチウムイオン電池原料）の輸出、家具装備品（大川市内の家具企業等）の輸入など、**背後地域産業のコンテナ貨物輸送拠点としての機能を果たしている。**

国際海上コンテナ取扱貨物量の推移



出典：三池港港湾統計を基に作成

国際コンテナ取扱貨物の内訳 (2022年)



## ○コンテナ大宗貨物 ～家具装備品の輸入～

【コンテナ】家具装備品(輸入量:約1.7万トン/年)  
 →大川市内の家具企業が、中国、ベトナム等の海外の提携工場で製造した製品をコンテナ貨物として輸入し、日本全国へ発送。



# 三池港の整備と地域活力の創出

## 三池港整備の変遷

～1950(S25)



- 1902年 三井鉱山 築港着手
- 1908年 竣工(開港場指定)
- 1940年 内港北岸壁完成
- 1951年 重要港湾に指定

1960(S35)



1963年 木材輸入港指定

1970(S45)



1971年 福岡県管理港湾に移管

1980(S55)



1981年 内港北岸壁延長工事完了  
1986年 連続アンローダーの導入

1990(H2)



1992年 内港南背後地に 大牟田物流センター完成  
1994年 外国産米穀輸入港の指定  
1997年 島原港との高速旅客船航路開設  
1998年 公共バス供用  
1999年 港湾計画(新規)

2000(H12)



2006年 釜山との国際コンテナ定期航路開設

2010(H22)～

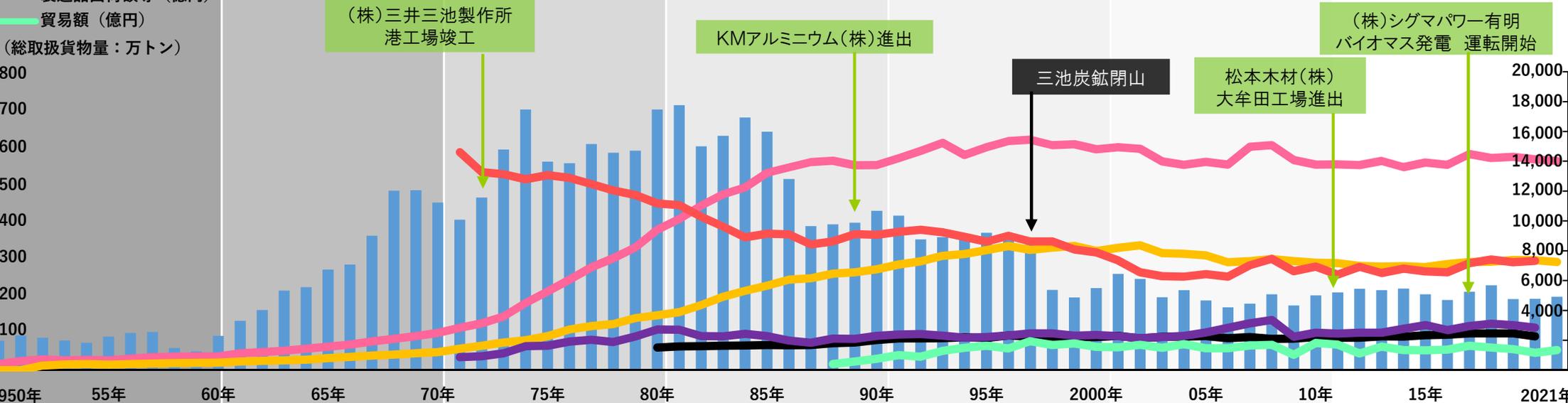


2015年 専用ふ頭の一部分を公共ふ頭に変更(世界遺産の保全)

- 総取扱貨物量 (万トン)
  - 人口一人当たりの所得 (百万円)
  - 地方税 (百万円)
  - 固定資産税 (百万円)
  - 従業者数 (人)
  - 製造品出荷額等 (億円)
  - 貿易額 (億円)
- (総取扱貨物量：万トン)

## 三池港の総取扱貨物量・貿易額及び大牟田市の経済・財政指標の推移

(人口一人当たりの所得：千円、地方税・固定資産税：百万円、従業者数：人、製造品出荷額等・貿易額：億円)

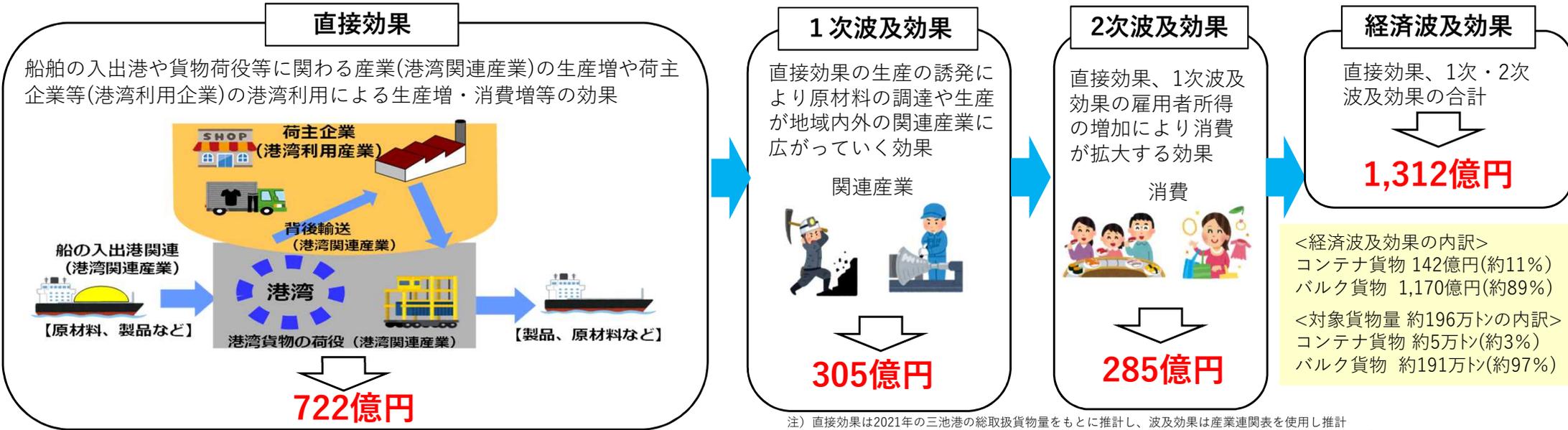


※総取扱貨物量は、国土交通省「港湾統計年報」より1940年～2021年(年次)を集計。  
 ※従業者数、製造品出荷額等は、経済産業省「工業統計」より、1971年～2020年(年次)を集計。貿易額は、財務省「貿易統計」より1988年～2020年(年次)における三池税関支署の管内貿易額を集計。  
 ※大牟田市の人口一人当たりの所得は、「福岡県市町村民経済計算」より、公表されている1980年度～2020年度(年度)を集計  
 ※地方税・固定資産税は、「大牟田市統計年鑑」及び総務省「地方財政状況調査」で公表されている1971年度～2021年度(年度)を集計  
 出典：港湾統計、工業統計、貿易統計、福岡県市町村民経済計算、大牟田市統計年鑑、地方財源状況調査、国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」

# 地域にもたらす効果 ~三池港利用企業の経済活動を通じて創出される経済波及効果~

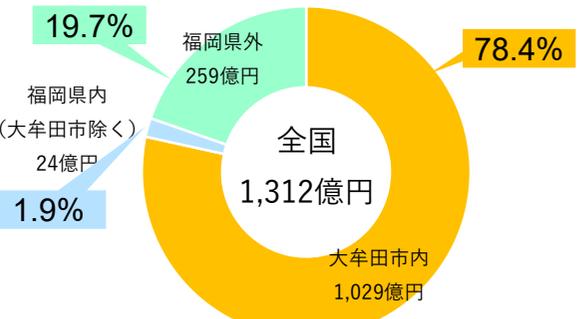
- 三池港は、これまでの港湾整備により、雇用増加、所得向上、更なる投資促進等の多様なストック効果を発現し、**全国に年間で約1,312億円の経済波及効果**をもたらしている。
- その経済波及効果は、三池港が所在する**大牟田市内に最も帰着しており**、全体の約8割に相当する**1,029億円の経済波及効果**をもたらしており、大牟田市の**市内総生産額※の約1/4**、**雇用所得の約1/5**に相当する経済波及効果がある。
- 三池港は、背後企業の生産活動に必要な海上輸送拠点としての機能を果たし、大牟田市のみならず、全国の経済活性化と雇用創出にも貢献している。

※大牟田市の市内総生産額4,250億円の内、約5割は保健衛生・社会事業など、港湾を経由する貨物と関連が薄い産業による生産額

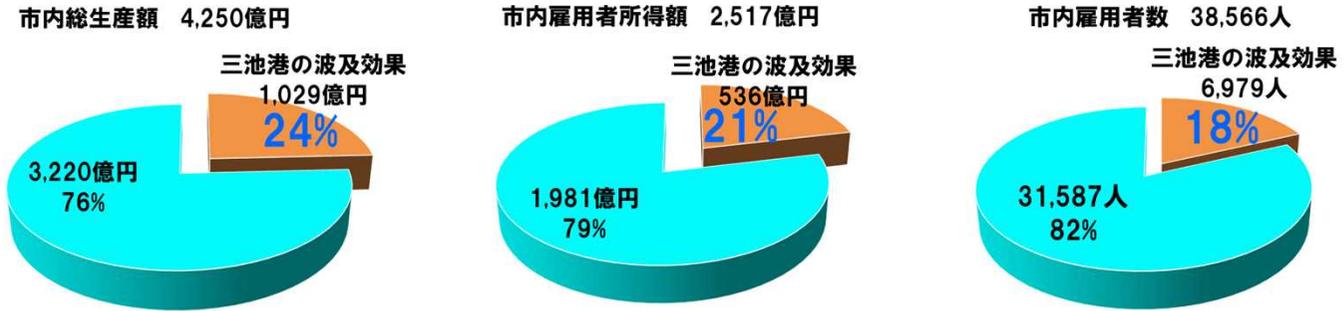


注) 直接効果は2021年の三池港の総取扱貨物量をもとに推計し、波及効果は産業連関表を使用し推計金額は経済活動によって生み出された粗付加価値額(売上高から原材料等の財・サービスの投入額を差し引いたもの)で示している

## 三池港による経済波及効果の帰着先 (総生産額ベース)



## 大牟田市にもたらす経済効果と雇用効果



注) 大牟田市の市内総生産(粗付加価値額)と雇用者所得額は「令和2年度市町村民経済計算/福岡県」の令和2年度の数値、雇用者数は「令和2年度国勢調査 就業状態等基本集計」の令和2年の数値を用いている。

注) 単位未満を四捨五入しているため合計値が合わない場合がある。